

セルフネグレクトについて

セルフネグレクトという言葉をご存知でしょうか？

簡単に説明すると、人が通常の生活をするのに必要な行為を行う意欲や能力を失い、自分の健康や安全を損なうことを言います。例えば、掃除や洗濯や料理等の家事や、食事摂取、服薬、入浴等、生活に必要な行為をしなくなることが代表的なものです。高齢者だけではなく、成人した方ならば誰でも陥る可能性があります。

今回は高齢者のセルフネグレクトについてお話します。1番多いのは、社会的に孤立しやすい1人暮らしの高齢者だと言われています。近年は、家族間や近隣住民との付き合い、地域活動等の機会がだんだん

減ってきています。そしてコロナウイルスの感染リスクを減らす

ために、外出する機会も減ってきています。そのような背景もあり、周囲の方がセルフネグレクトに気付きにくくなってきます。高齢者の親族が、久しぶりに実家に帰省すると、家中にゴミが散乱していたり、汚れた服を着ていたり、必要な薬を飲んでいなかった等の状態を発見したという話はよく耳にします。セルフネグレクトを完全に防ぐことは難しいですが、独居されている方や、高齢者夫婦が自分の家族でおられるならば、今よりも密に連絡

や会う機会を増やすことで、セルフネグレクトになる可能性を減らすことができます。



当施設の「グループホーム」ラ・フォート狭山池は、認知症の方が共同生活をする施設です。住み慣れた地域で、人（他の入居者様、介護職員、地域の人々）との関りをもつことで規則正しく自分らしい生活を送ることが出来ます。また、個室がありプライベートな時間や場所も確保されています。今一度、家族や地域の人々との関わりを考えてみてはいかがでしょうか。

グループホーム

「ラ・フォート狭山池」

施設長 植村賢